

三〇六三番

浅茅原あさぢはら 小野をのに標結しめゆひ 空言むなごとも 逢あはむと聞きこせ
恋こひのなぐさに

三〇六四番

人ひと皆みなの 笠かさに縫ぬふといふ 有間ありますげ菅 ありて後のちにも
逢あはむとそ思おもふ

三〇六五番

み吉野よしのの 秋津あきづの小野をのに 刈かる草かやの 思おもひ乱みだれて
寝ぬる夜よしそ多おほき

三〇六六番

妹待いもまつと 三笠みかさの山やまの 山菅やますげの 止やまらずや恋こひむ
命いのち死しなずは